

上田市長 母袋 創一 様

真田地域協議会

会長 清水 潤 印

意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	真田地域における観光の推進に関する意見
2 意見内容	<p>真田地域協議会は、第一次上田市総合計画の真田地域「地域まちづくり方針」の具体化に向けた協議を行いました。</p> <p>本地域協議会は、7項目の地域まちづくり方針を3つに分け、それぞれの分科会において専門的に協議し、さらに各分科会からの提案内容を全体会において協議した結果、本地域協議会の意見として真田地域の観光振興についてまとめましたので、別紙のとおり提案します。</p>

## 意見内容

### 真田地域における観光の推進に関する意見

～ 真田地域「地域まちづくり方針：④特色ある観光振興」の具体化について ～

#### 1 「真田氏発祥の郷」を活かした観光の推進

近年、テレビ放送・映画等において、真田氏に関連する史跡や施設が登場する機会が増え、真田の地を訪れる観光客が増加しています。この歴史ブームを好機として、昨年は住民有志らによる初の「真田行列ウォーキング」のイベントが開催されるなど、「真田氏発祥の郷」を活かした「地域まちづくり」の機運が住民に広まっています。

一方、多くの真田氏関連の史跡等については、地域内に広く点在し、相互の結びつきが希薄な状況にあり、必ずしも観光客に対して魅力のある「真田氏発祥の郷」を提供できていないのが実情です。


このような現状を踏まえ、「真田氏発祥の郷」であるこの地域の強みを最大限に活かした特色ある観光振興を地元住民と行政が連携を図って推進していく必要があります。

そこで、立地に優れた「ゆきむら夢工房・新鮮市」を地域内の観光拠点として整備するとともに、地域内の観光資源を有機的に結びつける施策を提言し、以下の項目を実施することを提案します。

- ① 夢工房にバス停の設置
- ② 夢工房を拠点とした地域内観光施設への交通手段の確保
- ③ 夢工房への案内標識・看板などの整備、モニュメント等の設置
- ④ 夢工房のトイレの増設、飲食施設・駐車場の整備
- ⑤ 夢工房・新鮮市とふれあいさなだ館の連携を強化
- ⑥ 農業振興と連携させた新鮮市の整備
- ⑦ 夢工房以外の観光資源の案内看板・駐車場・トイレ等の整備
- ⑧ 観光資源の維持管理に対する施策の実施
- ⑨ 知名度のある「幸村（ゆきむら）」を活かした地域特有のブランドを確立
- ⑩ 地域に潜在する伝統行事等を新たな観光資源として発掘

21 真地振第 110 号  
平成 22 年 3 月 8 日

真田地域協議会  
会長 清水 潤 様

上田市長 母袋 創一 

## 回 答 書

平成 22 年 2 月 3 日付け 貴地域協議会から提出のあった意見書について、  
下記のとおり回答します。

### 記

- 1 件 名 真田地域における観光の推進に関する意見
- 2 回答内容 別紙のとおり

## 回 答 書

真田地域協議会におかれましては、第一次上田市総合計画「地域まちづくり方針」に掲げられた「特色ある観光振興」の具体化について、熱心に協議を重ね、この度意見書をいただきましたことに、敬意を表するとともに感謝申し上げます。

### 1 「真田氏発祥の郷」を活かした観光の推進について

御提言にもありますとおり、最近では戦国歴史ブームと言われており、真田氏発祥の地である真田地域を訪れる観光客も増加しております。このブームをチャンスと捉え、また「観光地づくりは地域づくり」でもあることから、真田氏をぜひこの地域の振興に活かしてまいりたいと考えております。

今後「真田氏発祥の郷」を訪れる観光客の更なる増加が期待されるなか、さまざまな環境整備が必要であると認識しておりますが、ハード面のみならず、地域皆様の真田氏発祥の郷としての想いや誇りの醸成を高めていくことも必要であります。

この地域を訪れる観光客や地域の住民皆様の利便性をより高めていくため、地域の産業関係者や農業関係者と連携し、「将来のビジョン」の策定を進め、施設の整備等について研究してまいりたいと考えております。今後とも御理解と御協力を賜りたく存じます。

### 2 菅平高原スポーツ施設等の整備について

菅平高原は、国際スポーツリゾート地としてのステップアップ・高原野菜のブランド化による農業振興・豊かな自然環境の保全が求められています。

しかしながら、近年のスキー人口の減少にはじまり、経済不況など菅平高原を取巻く環境は非常に厳しい状況となっていることは、ご指摘のとおりでございます。

この地域の更なる振興には、地域の皆様の営農努力や広い視野に立った経営努力を御期待するとともに、地域の皆様との連携・協働が不可欠であります。

菅平高原の特性である、スポーツリゾートと豊かな自然環境、さらには高品質の高原野菜を生かした、「菅平高原振興ビジョン」を策定するなかで、施設の整備・拡充について検討してまいりたいと考えております。

今後とも地域協議会におかれましては、格別なる御理解と多大なる御支援をお願い申し上げます。

(真田産業観光課)

(別紙)

## 2 菅平高原スポーツ施設等の整備

菅平高原は、各種スポーツ合宿のメッカとして、わが国のトップアスリートが数多く訪れるなど、全国的な知名度を誇る地域です。しかしながら、現在の経済情勢に加え、スキー客（スキー人口）の大幅な減少、合宿誘致の地域間競争の激化など、菅平高原を取り巻く環境は厳しい時代を迎えております。

菅平高原がスポーツ観光地として進んでいく方向性として、他にはない菅平特有の魅力の向上をより一層図っていくためには、行政と民間が一体となった観光振興を推進していく必要があります。

その上で、菅平高原におけるスポーツ施設の整備・拡充は極めて重要な施策と考えることから、次の項目について提案します。

- ① 菅平高原におけるスポーツ観光の代表的な施設である「サニアパーク菅平」周辺への人工芝グラウンドの整備、駐車場の増設及び投擲場等の整備
- ② 国際的なスポーツイベントが開催でき、菅平高原の核となる総合的な複合施設の整備

